令和６年５月２日

郡市区等医師会　　御中

大 阪 府 医 師 会
（公印省略）

「感染症発生動向調査情報（第１７週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

http://www.iph.pref.osaka.jp/

【問合せ先】
大阪府医師会・地域医療１課
TEL 06－6763－7012

大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）
2024年 第17週（4月22日～4月28日）

今週のコメント
～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 非流行期へ」

第17週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,944例であり、前週比1.3%減であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.60、3.97、2.98、1.30、0.58である。

感染性胃腸炎は前週比10%増の1,098例で、三島8.56、堺市6.63、中河内6.40、泉州6.38、大阪市南部6.11であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は13%増の778例で、堺市6.11、北河内5.72、南河内5.06である。

RSウイルス感染症は32%減の585例で、大阪市北部7.21、大阪市西部3.50、中河内3.35であった。第5週以降12週間ぶりに減少に転じている。

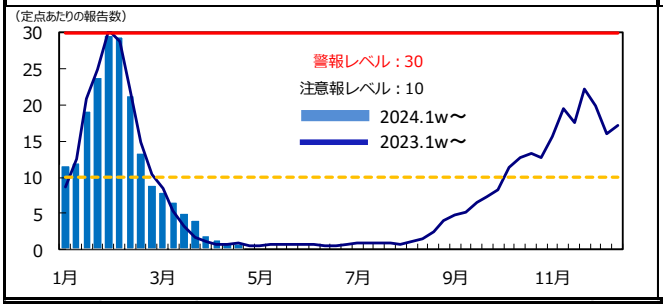
手足口病は22%増の255例で、泉州3.05、堺市1.79、中河内1.50である。年齢別の割合は、1歳で最も高く（45%）、次いで2歳（19%）、6か月以上12か月齢未満（13%）となっている。

流行性角結膜炎は15%増の30例で、大阪市南部1.75、三島・大阪市北部1.00であった。

インフルエンザは29%減の222例で、定点あたり報告数は0.73である。大阪市西部1.80、中河内1.00、泉州0.97、大阪市北部0.80、南河内0.79である。定点あたり報告数が1.0を下回り非流行期に入った。

新型コロナウイルス感染症は17%減の807例で定点あたり報告数は2.65であった。堺市3.31、大阪市北部3.30、南河内3.25、北河内3.05、大阪市東部2.91であった。

インフルエンザ



手足口病

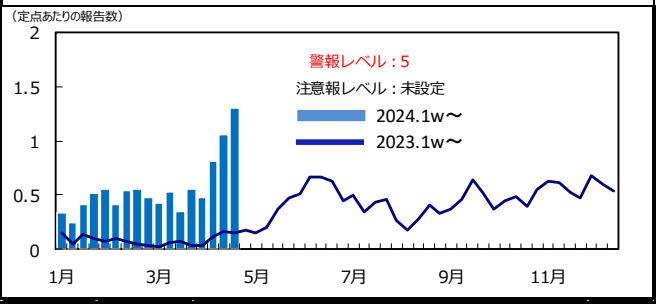


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第17週4月22日～4月28日）

第17週の順位	第16週の順位	感染症	2024年第17週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第17週の定点あたり報告数	2024年第17週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	5.60	10%増	5.64	1歳_12%
2	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.97	13%増	1.22	10-14歳_13%
3	2	RSウイルス感染症	2.98	32%減	3.11	1歳_34%
4	4	手足口病	1.30	22%増	0.15	1歳_45%
5	5	流行性角結膜炎	0.58	15%増	0.21	20歳以上_60%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	0.73	29%減	0.82	20歳以上_26%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	2.65	17%減	-	10-19歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第17週のコメント

～梅毒～　大阪府における梅毒累計報告数は昨年同時期についで多く、全国では2021年7,978例、2022年13,221例、2023年度14,906例と増加している

全数把握感染症

梅毒

全国の梅毒の年間報告数は、2020年5,867例、2021年7,978例、2022年13,221例、2023年は過去最高の14,906例と増加している。大阪府においても、2023年は2,019例で現行の集計方法で過去最高の年間報告数であった。梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

梅毒とは（国立感染症研究所）

梅毒（大阪府感染症情報センター）

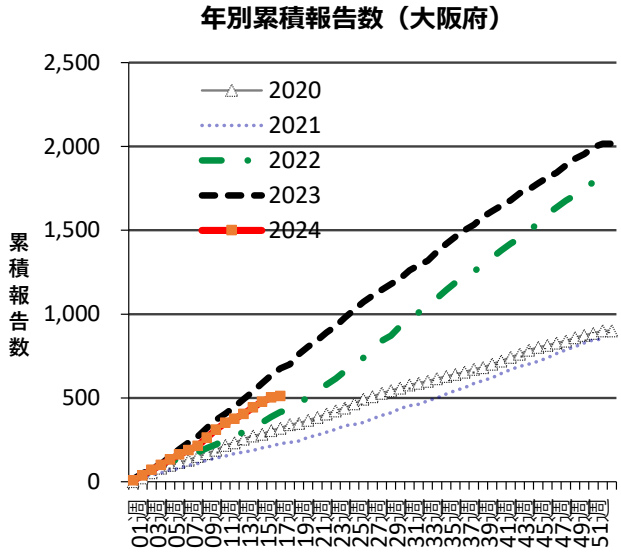


表２．大阪府全数報告数（2024年 第17週4月22日～4月28日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**1**					1				28
５類感染症	**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**	**2**		1		1					53
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**1**				1					40
	侵襲性肺炎球菌感染症	**1**							1		83
	梅毒	**8**		1	1	2	2		1	1	511
結核 （2024年2月分）	**結核　新登録患者数：41名**　（内　肺・喀痰塗抹陽性　19名） （府内累積報告数　118名、内　肺・喀痰塗抹陽性　49名）										

（2024年4月30日　集計分）

感染症発生動向調査情報　（ブロック別 ・ 疾患別 ・ 年齢別患者発生数）

2024年4月30日

第17週　2024年4月22日～2024年4月28日

（ブロック別）

疾病名 ＼ ブロック名		01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市北部	09 大阪市西部	10 大阪市東部	11 大阪市南部	合 計
定点数	小　児　科	22	16	25	20	16	19	21	14	10	15	18	196
	眼　　科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
	基　　幹	2	2	2	2	2	2	2	4				18
	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	36	26	40	31	24	29	34	20	15	22	27	304
小児科定点把握疾患	RSウイルス感染症	45	27	63	67	52	57	50	101	35	46	42	585
	咽頭結膜熱	7	2	9	10	16	1	24	5	6	4	7	91
	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	19	143	97	81	116	82	23	18	56	90	778
	感染性胃腸炎	99	137	140	128	93	126	134	64	38	29	110	1098
	水痘	3	4	5	0	5	4	3	3	0	1	0	28
	手足口病	12	14	20	30	17	34	64	17	13	12	22	255
	伝染性紅斑	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	突発性発しん	6	5	7	11	6	1	4	1	3	4	3	51
	ヘルパンギーナ	0	1	2	1	3	0	2	4	0	2	1	16
	流行性耳下腺炎	2	1	3	1	2	0	1	0	0	0	0	10
眼科定点把握疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	4	4	4	3	0	1	1	5	1	0	7	30
合　　計		231	214	396	348	276	340	366	223	114	154	282	2944
基幹定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	マイコプラズマ肺炎	0	1	0	0	3	4	2	2				12
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0	0	2				2
イ定	インフルエンザ	8	18	27	31	19	17	33	16	27	10	16	222

（年齢別）

疾病名 ＼ 年齢区分	6ヶ月未満	12ヶ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳から14歳	15歳から19歳	20歳以上	合計
R	68	113	199	100	66	22	11	1	0	2	2	1	0	0	585
咽	1	4	35	6	14	8	8	6	3	3	2	1	0	0	91
A	0	5	45	40	87	93	87	82	90	56	54	104	10	25	778
感	24	60	130	109	110	99	111	87	81	66	41	101	14	65	1098
水	0	1	3	2	0	4	1	3	2	4	1	6	1	0	28
手	2	33	115	48	24	10	13	4	2	2	0	0	0	2	255
伝	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
突	1	11	30	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	51
ヘ	0	2	2	6	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	16
流	0	0	0	1	1	2	2	0	1	0	0	2	0	1	10
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流	0	0	2	2	1	2	0	1	1	0	1	1	1	18	30
合計	96	229	561	320	308	244	234	184	180	133	101	217	26	111	2944
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マ	0	1	0	2	0	0	2	2	0	2	2	1	0	0	12
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
イ	1	6	11	11	15	5	13	7	11	9	9	39	27	58	222

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2024年4月30日

（ブロック別）

第17週　2024年4月22日～2024年4月28日

疾病名	ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市北部	09 大阪市西部	10 大阪市東部	11 大阪市南部	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合　計	上位5疾患順位
定点数	小　児　科	22	16	25	20	16	19	21	14	10	15	18	84	57	19	12	8	8	8	196	
	眼　科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52	
	基　幹	2	2	2	2	2	2	2	4				8	4	2	1	2	0	1	18	
	インフルエンザ	36	26	40	31	24	29	34	20	15	22	27	134	84	29	18	13	13	13	304	
小児科定点把握疾患	RSウイルス感染症	▽ 45	27	▽ 63	▼ 67	▽ 52	▼ 57	▽ 50	▽ 101	▽ 35	▽ 46	42	▽ 160	▽ 224	▼ 57	▼ 47	△ 14	▽ 17	▽ 18	▽ 585	3
	咽頭結膜熱	△ 7	2	△ 9	10	▽ 16	▼ 1	▲ 24	▼ 5	▲ 6	△ 4	▽ 7	△ 48	22	▼ 1	▽ 1	0	△ 6	▲ 2	91	5
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	▽ 19	143	△ 97	81	△ 116	△ 82	▽ 23	△ 18	△ 56	▽ 90	271	187	△ 116	△ 79	▲ 7	▲ 16	35	778	2
	感染性胃腸炎	99	▲ 137	140	128	93	▲ 126	134	64	38	29	110	408	241	▲ 126	62	△ 54	△ 41	57	1098	1
	水痘	▽ 3	△ 4	5	0	5	▲ 4	△ 3	▽ 3	0	△ 1	0	△ 12	▽ 4	▲ 4	0	△ 3	△ 3	▼ 2	△ 28	
	手足口病	▽ 12	▲ 14	▲ 20	30	△ 17	△ 34	64	▲ 17	△ 13	12	22	△ 99	▲ 64	△ 34	18	4	11	△ 7	▲ 255	4
	伝染性紅斑	0	0	▽ 0	▽ 0	1	0	△ 1	0	0	0	0	▲ 2	0	0	▽ 0	0	0	▽ 0	▽ 2	
	突発性発しん	▽ 6	▲ 5	△ 7	11	▽ 6	▽ 1	▽ 4	▼ 1	△ 3	▲ 4	▽ 3	▽ 17	11	▽ 1	△ 8	△ 3	▽ 4	▼ 1	51	
	ヘルパンギーナ	▽ 0	△ 1	▽ 2	▽ 1	△ 3	▽ 0	▽ 2	▲ 4	▽ 0	▲ 2	▽ 1	△ 7	7	▽ 0	0	0	▽ 0	▽ 1	16	
	流行性耳下腺炎	▲ 2	1	△ 3	▽ 1	2	0	1	0	0	0	▽ 0	▲ 6	▽ 0	0	▽ 0	1	0	0	▲ 10	
眼科定点把握疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	▽ 4	△ 4	△ 4	△ 3	0	△ 1	1	△ 5	△ 1	▽ 0	△ 7	△ 5	13	△ 1	1	0	▽ 2	▽ 0	30	
合　計		231	△ 214	396	348	276	△ 340	366	▽ 223	114	154	282	1035	773	△ 340	216	△ 86	100	▽ 123	2944	
基幹定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	▽ 0	0	0				0	0	▽ 0	0	0	0	0	▽ 0	
	マイコプラズマ肺炎	0	1	▽ 0	0	△ 3	▽ 4	2	2				△ 5	▲ 2	▽ 4	0	1	0	▽ 0	▲ 12	
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	▽ 0	0	0	▽ 0	0	2				0	△ 2	▽ 0	0	0	0	▽ 0	2	
イ定	インフルエンザ	▽ 8	▽ 18	▼ 27	▽ 31	19	17	33	▼ 16	△ 27	▼ 10	▽ 16	▽ 75	69	17	▽ 11	▽ 12	▽ 1	14	▼ 222	

△▽・・・前週比20%以上増減　▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計　　2024年16週(04月15日～04月21日)

1～4類（全数把握）	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ（A/H1N1）	0
急性灰白髄炎	0
結核	264
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）	0
中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）	0
鳥インフルエンザ（H5N1）	0
鳥インフルエンザ（H7N9）	0
コレラ	0
細菌性赤痢	4
腸管出血性大腸菌感染症	39
腸チフス	0
パラチフス	0
E型肝炎	7
ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）	0
A型肝炎	5
エキノコックス症	0
エムポックス	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	1
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属ＳＦＴＳウイルスであるものに限る。）	7
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	1
デング熱	0
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１及びＨ７Ｎ９を除く。）	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	3
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	0
マラリア	0
野兎病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	21
レプトスピラ症	0
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部（全数把握）	報告数
アメーバ赤痢	11
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）	6
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	38
急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	1
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を	2
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	35
後天性免疫不全症候群	11
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	11
侵襲性髄膜炎菌感染症	2
侵襲性肺炎球菌感染症	30
水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）	7
先天性風しん症候群	0
梅毒	185
播種性クリプトコックス症	2
破傷風	0
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0
百日咳	14
風しん	0
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	9105	1.85
COVID-19	17937	3.64
ＲＳウイルス感染症	5498	1.76
咽頭結膜熱	2118	0.68
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12784	4.08
感染性胃腸炎	13123	4.19
水　痘	450	0.14
手足口病	1405	0.45
伝染性紅斑	153	0.05
突発性発しん	933	0.30
ヘルパンギーナ	187	0.06
流行性耳下腺炎	159	0.05
急性出血性結膜炎	13	0.02
流行性角結膜炎	381	0.55
細菌性髄膜炎	10	0.02
無菌性髄膜炎	7	0.01
マイコプラズマ肺炎	64	0.13
クラミジア肺炎（オウム病を除く。）	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	10	0.02

定点数

インフルエンザ/COVID-19	4931
小児科	3130
眼科	693
基幹病院	481

3月(月報)

性感染症・基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症	2466	2.52
性器ヘルペスウイルス感染症	807	0.82
尖圭コンジローマ	500	0.51
淋菌感染症	739	0.75
メチシリン耐性黄色ﾌﾞﾄﾞｳ球菌感染症	1352	2.82
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	60	0.13
薬剤耐性緑膿菌感染症	4	0.01

定点数

ＳＴＤ	980
基幹病院	480

注意　記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。

2024年4月30日

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ブロック別 ・ 疾患別 ・ 年齢別患者発生数

（ブロック別）

第17週　2024年4月22日～2024年4月28日

ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市北部	09 大阪市西部	10 大阪市東部	11 大阪市南部	合 計
COVID-19定点数	36	26	40	31	24	29	34	20	15	22	27	304
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	101	56	122	59	78	96	69	66	28	64	68	807
疾病名	定点あたり報告数											
新型コロナウイルス感染症	2.81	2.15	3.05	1.90	3.25	3.31	2.03	3.30	1.87	2.91	2.52	2.65
16週	3.06	3.12	3.75	2.52	3.42	2.83	3.82	3.65	2.20	2.82	3.44	3.20
15週	2.42	2.31	3.53	1.87	3.17	3.14	3.94	3.70	2.27	3.05	2.89	2.96
14週	2.81	2.31	3.78	3.13	3.29	3.72	3.74	3.80	2.67	3.77	2.59	3.26
13週	3.51	3.74	4.61	2.39	3.92	3.97	3.00	3.95	3.00	3.14	4.00	3.60
12週	4.22	2.74	3.22	2.74	4.29	4.69	4.35	3.65	3.07	2.50	3.44	3.59

（年齢別）

年齢区分	0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	33	82	56	109	59	55	68	93	75	84	93	807
	4%	10%	7%	14%	7%	7%	8%	12%	9%	10%	12%	